

## 信用金庫の女性渉外担当の配置

2025  
 プランニング

### ポイント

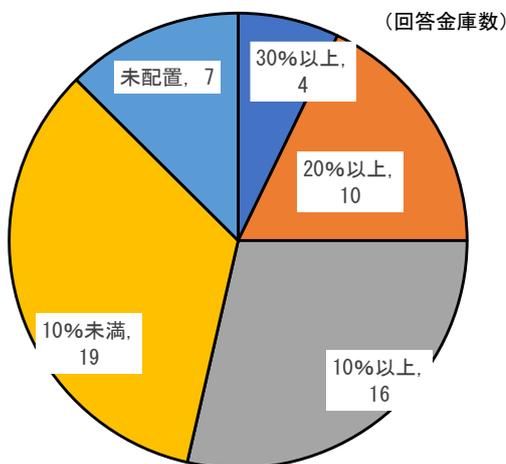
- 2025年度の経営戦略プランニング研修では「女性渉外担当の配置」についてディスカッションが行われた。
- 女性渉外担当の業務内容は、大きく①個人担当などの専門性を高めるタイプと、②地区担当などの幅広に活躍するタイプに分かれる。
- 取組時の検討ポイントは、①経営陣を含む管理者の意識改革、②キャリアアップのイメージ共有、③営業活動のBPR推進などである。
- 研修受講金庫の取組事例をみると、性別に関係なく2年目（または3年目）職員を渉外担当に任命する信用金庫が増えていた。

(注) 本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2025年度&経営層向け）」等の意見交換で得た情報をもとに作成している。

### 1. 女性渉外担当の配置

近年、女性職員を渉外担当に配置する信用金庫が増えている。背景には、①男性職員の減少に伴う渉外担当の確保、②ダイバーシティ経営を進めるなか女性職員の活躍の幅拡大などの狙いがある。そこで女性職員の渉外担当の配置状況を確認することにした。当研修の事前課題の集計結果をみると、2024年度末時点で女性渉外担当を配置する信用金庫は、9割に近かった（図表1）。また配置金庫における女性渉外担当の比率（女性渉外担当数÷渉外担当数×100）は単純平均で14.9%となった。なお、女性渉外比率の高い信用金庫はOJTルールで性別に関係なく若手に渉外担当を経験させていた。

(図表1) 渉外担当に占める女性渉外の割合（2024年度末・事前課題）



### (事前課題の内容)

質問項目	①渉外人員数 ②うち女性渉外人員数
期 間	2025年6月2日～30日（追加開催の提出等を除く）
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2025年度および経営層向け受講金庫）57金庫（欠席を含む）
備 考	・未回答の金庫あり ・回答金庫によって定義等が異なる場合がある

(備考) 図表1・2ともに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. 業務範囲の拡大

女性渉外担当の業務内容は、大きく①個人担当などの専門性を高めるタイプと、②地区担当などの幅広に活躍するタイプに分かれる。これまでは、男性の渉外担当が法人（融資）営業で女性の渉外担当は個人（預かり資産など）営業を担当する信用金庫が多かった。しかしながら足元では、ダイバーシティ経営の進展もあり、性別に関係なく同じ目線で渉外営業を経験させる信用金庫が増えている。

## 3. 取組時の留意点

取組時の検討ポイントは、①経営陣を含む管理者の意識改革、②キャリアアップのイメージ共有、③営業活動のBPR推進などである。今後の信用金庫経営を考えるうえで女性職員の活躍拡大は不可欠であり、だからこそ経営陣および現場の管理者は女性渉外担当への過度な期待や配慮に注意が求められる。また女性職員が渉外担当を経験した後のキャリアアップのイメージを提示することも大切である。

## 4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修（2025年度&経営層向け）」等の意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは**図表2**のとおりである<sup>1</sup>。

（図表2）研修受講金庫のコメント

- 当金庫の人事制度は総合職と一般職の複線型である。総合職を選択すると、性別に関係なく渉外営業を行うため、庫内では普通である。とは言え、男性の渉外担当が中小企業の多い支店に多く、女性渉外は住宅地の支店に集まる傾向が残る。
- 当金庫の支店長・役席は考え方が古く女性職員の渉外営業に消極的であった。そこでOJT制度をルール化し、全員が渉外営業を経験する形にした。導入から2・3年だが、あと数年すれば女性渉外担当という言葉自体なくなるだろう。
- 入庫時に「営業あり」で入ってきた女性職員が活躍し始めると、彼女たちがインフルエンサーとなり、更に次の世代にも渉外担当の楽しい点・苦しい点などを広めてくれるようになる。当金庫としてはこの流れを絶やさないようにしたい。
- 当金庫の女性渉外はほぼ全員が預かり資産推進などの個人担当だった。個人担当を卒業した後の次のステージを提供できず、女性職員のモチベーション低下に繋がっていた。そこで現在は性別に関係なく地区担当への配置を優先するようにした。
- 当金庫の総合職は性別に関係なく渉外営業に出る。現状、20～30代の女性総合職はいちど預かり資産担当になり、その後、産休・育休を経て復帰後には営業店の融資係になる流れである。良い意味で当金庫の営業店には女性の融資役席が多い。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

<sup>1</sup> 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。

## 経営戦略プランニング研修（2025年度）

関連レポートのご案内

営業推進

このほかにも、  
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、  
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ：<https://www.scbri.jp/>

関連レポートは  
こちら



No.	発行日	タイトル
2025-130	2026/2/13	信用金庫の法人預金の取扱い
2025-131	2026/2/16	信用金庫の相続手続き効率化策
2025-132	2026/2/16	信用金庫の相続預金の流出防止策
2025-133	2026/2/25	信用金庫の預貸率の変化
2025-134	2026/2/25	信用金庫の貸出金利息と経費の関係
2025-139	2026/3/2	信用金庫の本業支援と融資セールスの関係
2025-140	2026/3/2	信用金庫のフィービジネスの取扱い
2025-141	2026/3/3	信用金庫の住宅ローンの取扱い
2025-142	2026/3/3	信用金庫の不動産業向け貸出の取扱い
2025-152	2026/3/17	信用金庫の営業エリアの再設定
2025-153	2026/3/17	信用金庫のWebチャンネルの強化
2025-155	2026/3/18	信用金庫の渉外体制改革